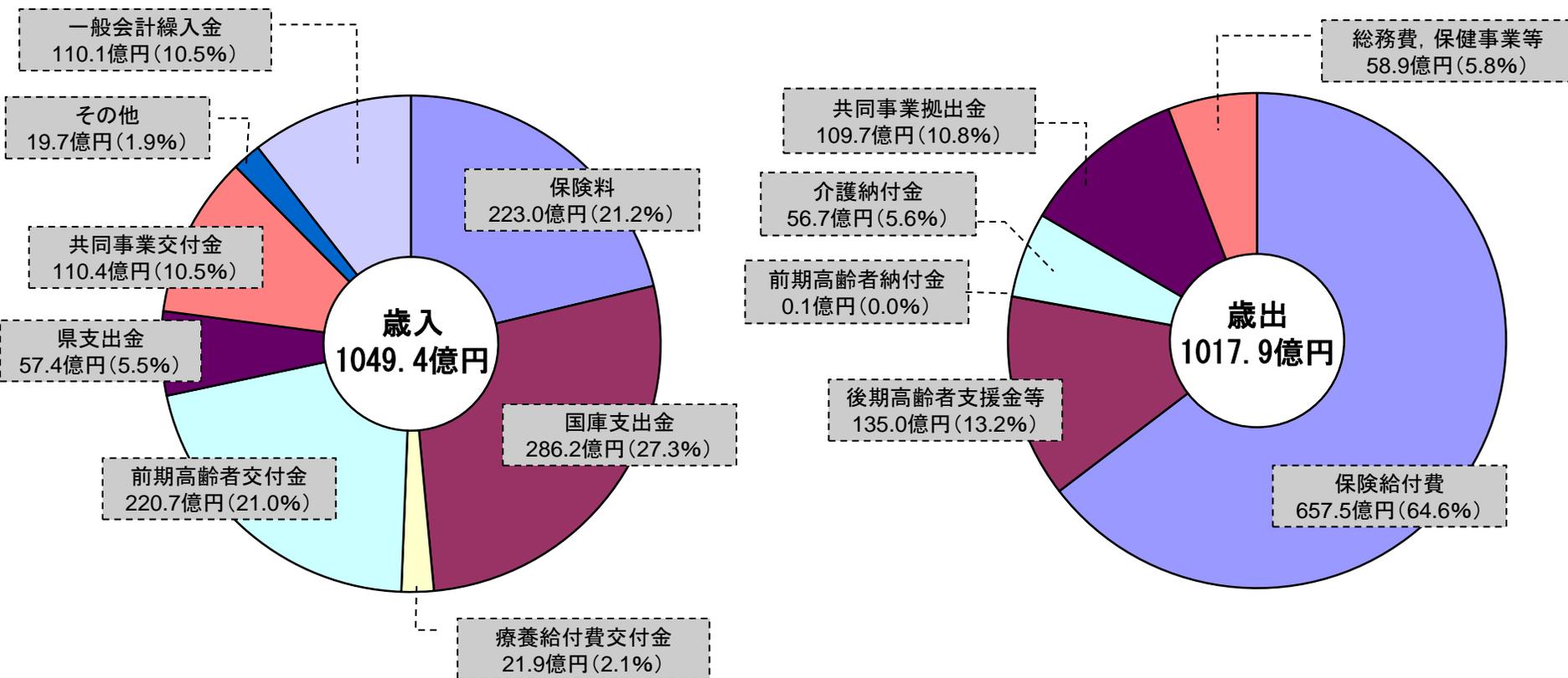


平成25年度
仙台市国民健康保険事業特別会計
決算(案)について

1 平成25年度決算について

- ① 歳入決算額 1,049億4,140万円（前年度比39億7,182万円, 3.6%減）
歳出決算額 1,017億8,924万円（前年度比52億4,627万円, 4.9%減）
歳入歳出収支 31億5,216万円
- ② 保険給付費 657億4,700万円（前年度比74億5,261万円, 10.2%減）
- ③ 被保険者数（4～3月平均）24万8,714人（前年度比4,802人, 1.9%減）
- ④ 一人あたり医療費 318,196円（前年度比8,222円, 2.5%減）
- ⑤ 保険料現年度収納率 88.08%（前年度比0.47ポイント増）

2 平成25年度決算国保財政の内訳



3 平成25年度歳出決算について

(単位:億円)

項目	H25			H24	H25-H24
	予算現額	決算額	不用額	決算額	増減額
総務費	17.0	15.6	1.4	15.9	▲ 0.3
保険給付費	666.3	657.5	8.8	732.0	▲ 74.5
後期高齢者支援金等	135.5	135.0	0.5	124.7	10.3
前期高齢者納付金	0.1	0.1	0.0	0.2	▲ 0.1
介護納付金	56.9	56.7	0.2	53.0	3.7
共同事業拠出金	123.7	109.7	14.0	113.4	▲ 3.7
保健事業費	10.3	9.6	0.7	9.5	0.1
その他	34.3	33.7	0.6	21.7	12.0
合計	1044.1	1017.9	26.2	1070.4	▲ 52.5

保険給付費は、震災に係る一部負担金免除の終了等に影響より、H24年度決算額と比較して約74.5億円の減となった。

後期高齢者支援金は、被保険者一人当たりの負担額の増加等により、H24年度決算額と比較して約10.3億円の増となった。

一般会計繰出金の皆増(※)により、H24年度決算額と比較して約12.0億円の増となった。

※H24年度決算において、一部負担金免除額の財源の一部を一般会計繰入金で補てんしたため、H25年度歳出で一般会計へ繰出している。

4 平成25年度歳入決算について

(単位:億円)

項目	H25			H24	H25-H24
	予算現額	決算額	決算-予算	決算額	増減額
国民健康保険料	229.6	223.0	▲ 6.6	187.2	35.8
国庫支出金	263.1	286.2	23.1	357.2	▲ 71.0
療養給付費交付金	22.4	21.9	▲ 0.5	29.1	▲ 7.2
前期高齢者交付金	221.5	220.7	▲ 0.8	211.3	9.4
県支出金	57.7	57.4	▲ 0.3	59.0	▲ 1.6
共同事業交付金	120.7	110.4	▲ 10.3	113.9	▲ 3.5
その他	19.0	19.7	0.7	18.9	0.8
一般会計繰入金	110.1	110.1	0.0	112.5	▲ 2.4
合計	1044.1	1049.4	5.3	1089.1	▲ 39.7

国民健康保険料は、震災に係る保険料減免額の減少及び収納率の向上等により、H24年度決算額と比較して約35.8億円の増となった。

国庫支出金は、震災に係る一部負担金免除額の減等によりH24年度決算額に対して約71.0億円の減となった。

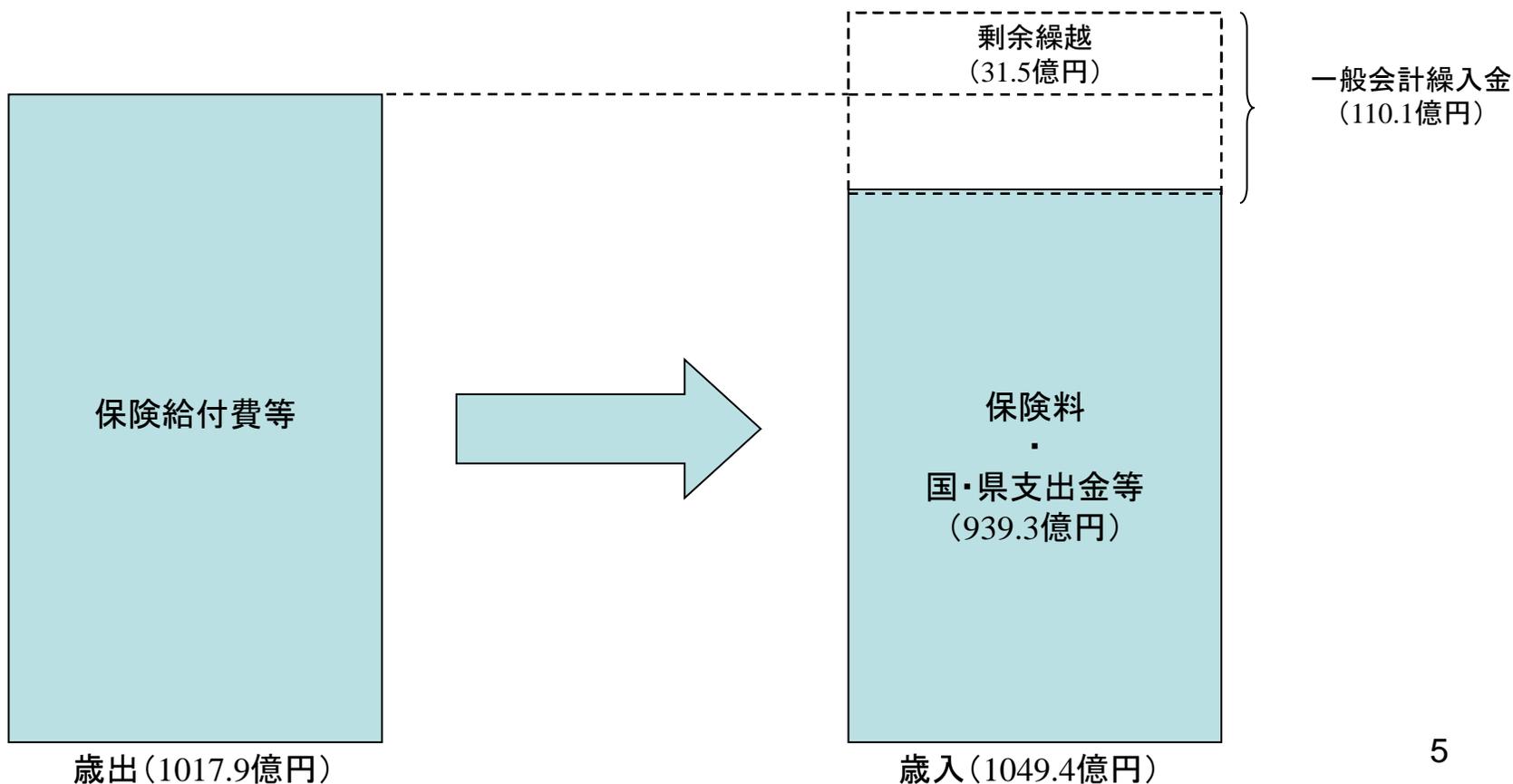
療養給付費交付金は、退職被保険者の減等により、約7.2億円の減となった。

前期高齢者交付金は、前期高齢者(65~74歳)に係る保険給付費の増及び、過年度分マイナス精算額の減により、H24年度決算額と比較して、約9.4億円の増となった。

5 決算時の一般会計繰入金の考え方

保険給付費などの歳出額と、納付された保険料や交付を受けた国・県支出金などの歳入額の差として生じた不足額は、一般会計からの繰入金で収支を均衡させている。

平成25年度決算においては、特別調整交付金の追加交付等により生じたプラス収支分を翌年度に剰余繰越している。

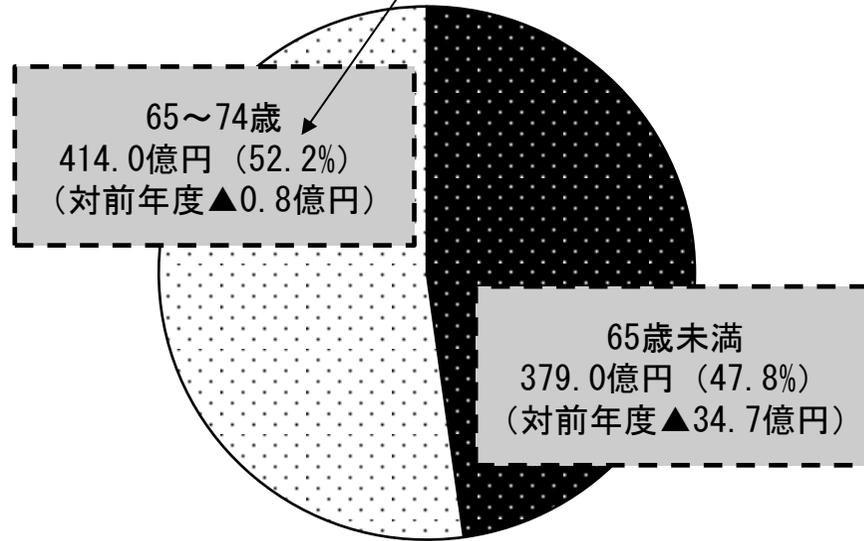
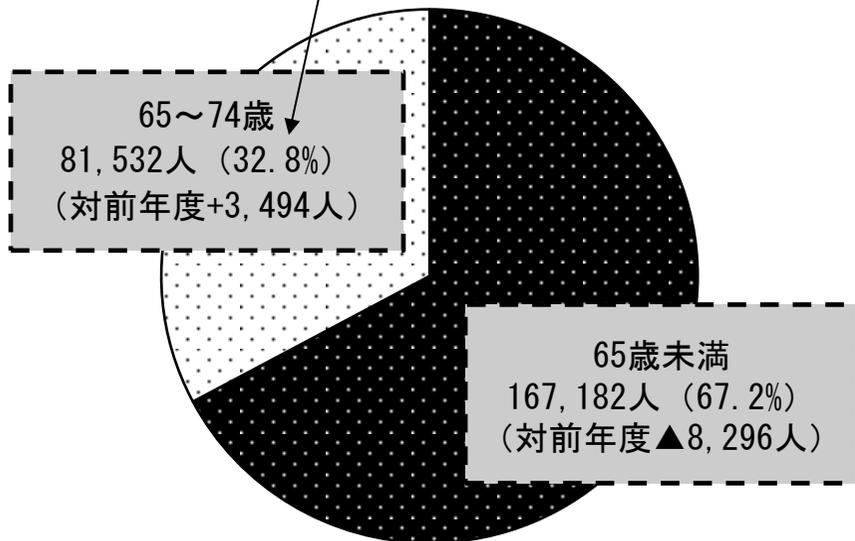


6 被保険者の年齢構成と医療費

被保険者数の32.8%を占める65～74歳の被保険者が、医療費では全体の52.2%を占めている。

被保険者数（4～3月平均）
248,714人（対前年度▲4,802人）

医療費（総計）
793.0億円（対前年度▲35.5億円）



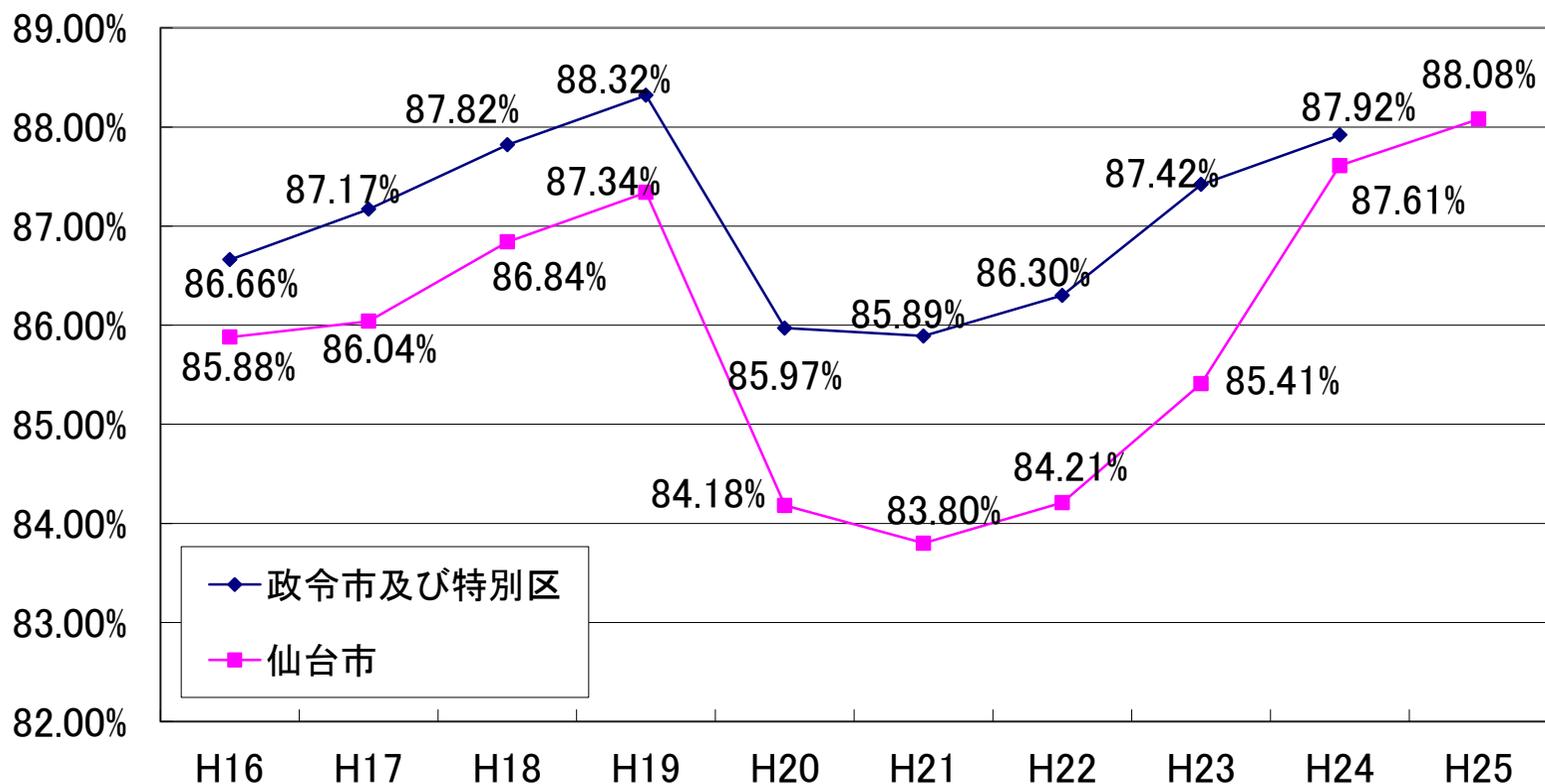
一人あたりの医療費

(単位:円)

	65～74歳	65歳未満	全体
H24	533,384	234,997	326,418
H25	513,415	223,803	318,196
増減率	▲3.7%	▲4.8%	▲2.5%

7 保険料収納率(現年度)の推移

25年度は「計画的な滞納整理の実施」「現年度の滞納整理に期別滞納整理を導入」「市税等との連携強化と共同徴収」等により、0.47ポイントの増となった。



(資料)厚生労働省「国民健康保険(市町村)の財政状況について」
※H25年度の仙台市の収納率については速報値

8 市町村国保の現状

①年齢構成が高く、医療費水準が高い

・65～74歳の割合：国保31.4%，協会けんぽ4.2%，健保組合2.5%

②所得水準が低い

・加入者一人あたり平均所得：国保83万円，協会けんぽ137万円，健保組合198万円

③保険料負担が重い

・加入者一人あたり保険料/加入者一人あたり所得：国保9.9%，協会けんぽ7.2%，健保組合5.0%

④保険料(税)の収納率低下

・91.38%(平成11年度)⇒89.86%(平成24年度速報値)

⑤一般会計繰入・繰上充用

・市町村による法定外繰入額：約3,900億円，繰上充用額：約1,200億円(平成24年度速報値)

⑥財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者の存在

・1,717保険者中3,000人未満の小規模保険者 422(全体の1/4)

⑦市町村間の格差

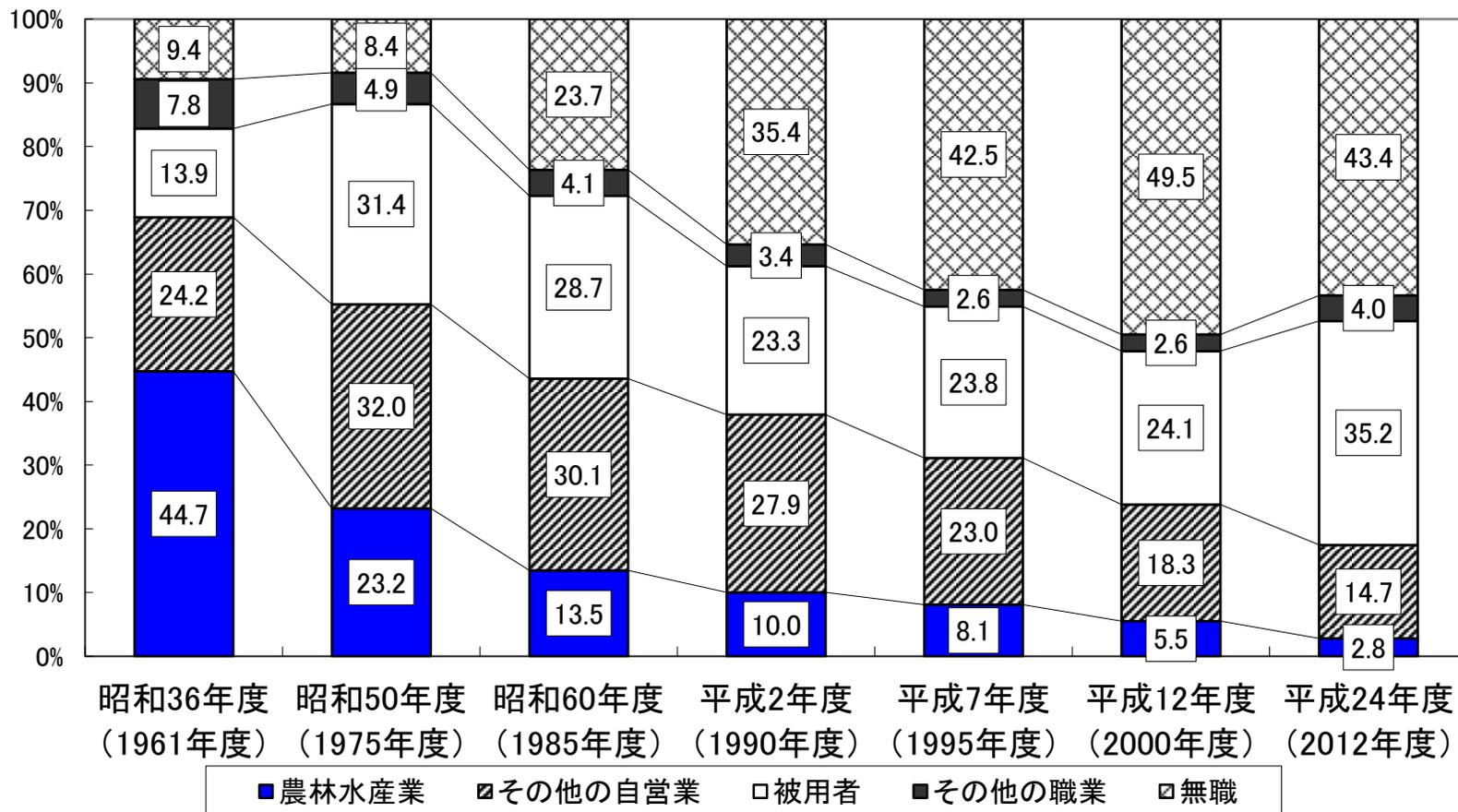
・一人あたりの保険料の格差：最大2.9倍(東京都) 最小1.3倍(富山県)

※東日本大震災による保険料(税)減免の影響が大きい岩手県，宮城県，福島県を除く。

9 市町村世帯主の職業別世帯構成割合の推移

無職者43.4%+被用者35.2=78.6%

市町村国保は、もはや自営業者のための制度ではなく、被用者保険等の加入者を除く、全ての者を被保険者とする公的医療保険制度であり、国民皆保険の最後の砦である。



(資料)厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」